



アメリカ・ハワイ大学

A類社会選修

金子 絢香

留学開始時の学年：3年生

留学期間：2017年2月27日～3月8日

(10日間)

ハワイ大学へ

ハワイ大学への短期留学プログラムは、主にハワイの多民族多文化社会での教育について学ぶものです。春休みに10日間の日程で行われました。

このプログラムに参加しようと思ったのは、教員を目指すにあたって様々な価値観に触れる必要があると考えたからです。また専門が社会科ということもあり、日系移民の歴史について、ハワイに渡った人々がどのように文化を形成し、今のハワイにどのような影響をもたらしているのかを実際に見てみたいと思ったこともありました。もちろんハワイという素敵な南の島に一度行ってみたいという想いもありました。

春休み中のプログラムということもあり、日程的に教育実習などに影響がなく、4年間での卒業を目指す私にとっても参加しやすいプログラムというのも、このプログラムに参加した理由の一つです。

ハワイでの生活

留学中は、6日間はハワイ島、2日間はオアフ島で研修を行いました。

ハワイ島では、ハワイ大学ヒロ校で日系移民の歴史、そして現在も根付いている移民の文化を学びました。またヒロ校やヒロ高校では、学芸大に関するプレゼンテーションを英語で行いました。私のチームは学芸大の紹介だけでなく、日本のカフェやラーメン屋さんなど、日本文化に興味を持ってもらえるようなプレゼンを行いました。

また現地の本願寺学園では、日本語で行われる小学生の授業を見学し、ヒロ高校では国語や化学、美術の授業にも参加して、とても貴重な体験が出来ました。他にも日本からの修学旅行生のサポートをしたりしました。

もちろん買い物などを通して地元の方々、日系の方々とも触れ合いました。最初は私の英語がうまく伝わっているのか不安と緊張の連続でしたが、皆さん優しく接して下さったこともあり、最後の方は、かなり積極的に話せるようになり、自分でも驚くほどでした。



そして、オアフ島では、マキキ教会でフラダンスの体験をしたり、ハワイ大学マノア校の演習林でハワイの自然を観察したりしました。珍しい黄色いオヒアの花を見つけることが出来て、とても感動しました。

研修の最後では、個人課題として、私はホノルル水族館で、ハワイならではの水様生物を観察しました。ハワイ諸島の周辺はサンゴの保護区となっていますが、水族館では沢山の貴重なサンゴが展示されています。

短期留学での経験を活かして

今回の留学で学んだ日系移民の歴史を、今後も更に深めていくつもりです。とくに今回、集めた写真などを、今後、教育実習や教員になってからの教材として使っていきたいと考えています。

また現在、小学校の教員を目指していますが、小学校では 2018 年から 3・4 年生でも外国語活動が始まります。今回、ハワイの学校などで見聞したことをより深め、小学校での実践に繋がりたいです。その意味で、今回の経験は今後の大学生活や教員生活に繋がる活動が沢山あり、非常に有意義でした。

